

医療現場

今がんばらなければならぬのは政治



「救急医療の現場で医師も救急隊員も日夜がんばっている。今がんばらなければならぬのは政治だ」――2月4日の参院予算委員会で、山下議員は、救急医療の深刻な実態を突きつけ、国の医療政策の抜本的転換を強く求めました。質問はTVでも中継され、「その通りの現状です。よくぞ言ってくれました」（九

は、容態が急変した妊婦の搬送先が見つからず、お母さんや赤ちゃんが2年続けて亡くなりました。兵庫県但馬地域では、公立病院の縮小・再編により、救急車で運ばれる距離が長くなるなど住民の不安がふくらんでいます。大阪でも、重症患者を受け入れる救命救急センターが処置中・満床で、交通事故の男性が死亡して

青年雇用

現代の『派遣哀史』 政治の力でなくすべき



派遣の（浦安市）日雇い（聞き取り）くる（浦安市）集合して（浦安市）青年から

「現代の青年たちが『派遣哀史』とでも言うべき状況におかれている。登録型派遣、日雇い派遣を政治の力でなくすべきだ」――昨年11月5日、参院行政監視委員会に山下議員の声が響きました。「集合場所から派遣先までトラックの荷台に積まれて運ばれた」「安全装置がなくプレスで指を



「現代の青年たちが『派遣哀史』とでも言うべき状況におかれている。登録型派遣、日雇い派遣を政治の力でなくすべきだ」――昨年11月5日、参院行政監視委員会に山下議員の声が響きました。「集合場所から派遣先までトラックの荷台に積まれて運ばれた」「安全装置がなくプレスで指を

落とした子もいる」「アパートの一部屋に四、五人で泊まっている」「いくら仕事をしてもお金がたまらず、サラ金に手を出す人も多い」派遣で働く青年たちの生の声を突きつけられた舛添厚労相は、「先進国として改善していかないといいけない」と答弁。その後、労働者のたたかいが力となり、政府は「日雇い派遣の原則禁止」を言い出さざるをえなくなりました。

胸のバツジは皆さんの瞳 現場の声を届け、

国民が主人公の政治に全力！



高速道路の建設費は1km当たり61億円！

ったことが地方財政を深刻にしたと増田総務相は、「国の責任を認めなければならぬ」と

道路特定財源で8回質問 道路より医師を

通常国会で大問題となった道路特定財源。山下議員も8回質問に立ちました。

冬柴国交相が、奈良県十津川村から救急病院に行くために道路整備が必要

だと紹介した病院が、じつは医師不足のためにお産の取り扱いをやめていることを暴露。



あぶくま高原道路を調査

道路にしか使えない道路特定財源を一般財源化して、医師不足解決に使った方が命を救うことになると迫りました。また、高速道路優先の「道路中期計画」が、地方の生活関連道路の整備予算を圧迫していることも、現地調査にもとづいてあきらかにしました。

地方財政悪化は国の責任 地方交付税の復元を

総額二百兆円にふくらんだ地方自治体の借金。各地でサービスカットなど住民生活を直撃しています。山下議員は、一九九〇年代、国が景気対策として地方に公共事業を押し付けたうえに、小泉内閣以来、地方交付税の大幅削減を行

米軍への給油は和平に逆行

米軍の空爆にも使われたインド洋での給油。山下議員は、アフガンニスタン政府が進めようとしている和平の努力にも逆行すると高村外相と論戦。「テロ特措法」の廃止を求めました。今年に入って、アフガンでは空爆による民間人の犠牲がさらに増えています。自衛隊の給油活動＝軍事作戦への参加は一刻も早くやめるべきです。

きました。深刻な実態と国民世論に押され、政府もとうとう「医師養成数の増員」に転換することを表明しました。

大好評！テレビ出演



日テレ「太田光の私が総理大臣になったら」、朝日ニュースター「国会番外地」に出演。頑張りました！

欧州評議会・拡大議員会議でスピーチ



欧州評議会の決議に、私が提案した格差問題の修正案が盛り込まれました。全ての人々に恩恵ある「発展」が大事。

後期高齢者医療制度



国会でも連日のように座り込みが。世論と運動の力で、高齢者を差別する医療制度は廃止させましょう。（5・28国会座り込み行動を激励）

気候変動問題で調査・質問



地球温暖化対策は待ったなし。実効あるCO2削減対策を求め、2020年までの中期削減目標の具体化を迫りました。（木質バイオマス・森林整備を調査）

漁協で燃油高騰調査



史上初の全国一斉休業をはじめ漁民と国民の声が政治を動かし、燃油高騰分への補填を含む国の支援策が実現しました。（タチウオの水揚げ日本一の和歌山・箕島町漁協で）

地域医療シンポ・青年雇用集会



地域医療や青年雇用問題では、シンポや学習会など講演17回。全国を巡りました。国会の合間をぬっての講演活動は大変ですが、たくさんの元気をもらいます。